

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404

風水害に備える

台風や豪雨などの風水害は地震と違い、事前に予報があり、対策を立てる余裕があるため、私たちの心構え一つで被害を少なくすることができます。

また、日ごろから、家や周囲の点検・補修をしておくことで、万全の対策を講じておくことができます。

普段からの準備

- ・ 雨どいや側溝は、常に水はけをよくしておく。
- ・ 瓦のずれや割れ、トタンのめくれは、修繕しておく。
- ・ ブロック塀で崩れそうなところは、柵や石積みで補強しておく。
- ・ 家の周りは、いつも整理しておく。

台風や豪雨が近付いてきたら

- ・ テレビ、ラジオで情報を聞く。
- ・ ベランダの植木鉢、物干しざおなど飛ばされやすいものは、室内へ入れておく。
- ・ 停電に備えローソクや懐中電灯の用意をしておく。
- ・ 浸水のおそれがあるときは、家財道具を高いところへ移動させる。

危険を感じたら

- ・ 河川などの増水は早いので、素早い判断と行動が必要です。
- ・ 浸水や洪水などで危険を感じたら、または、町や消防、警察から避難指示が出たら、すぐに避難しましょう。
- ・ 服装は活動しやすく、保温性があり、防水効果のあるものにしましょう。
- ・ 裸足や長靴は厳禁です。ひもでしめられる運動靴を履きましょう。
- ・ 避難のときは火の始末・戸締りを確実にし、家族全員で、隣近所と協力しながら避難しましょう。
- ・ 高齢者や身体の不自由な人は背負うなどして一緒に避難しましょう。はぐれないようにお互いの体をロープで結んでおくと、子ども連れでも安心です。
- ・ 歩ける深さは、男性で約70cm、女性で約50cmくらいが限界です。
- ・ 腰まで水深があれば無理せず、高所で救援を待ちましょう。

Topics

6月7日～13日は危険物安全週間

危険物の取扱に注意

石油類をはじめとする危険物は、事業所などにおいて幅広く利用されており、生活に深く浸透しています。

また、皆さんの身の回りにも危険物としてガソリン、灯油、油性塗料などがあり、危険物の安全確保の重要性はますます増加しています。

その中で、皆さんに気をつけてもらいたいことの1つに、「自動車への給油行為」があります。

平成 27 年度危険物安全週間推進標語

「無事故へと 気持ち集中 はっけよい」

セルフ式のガソリンスタンドが身近な存在になっていますが、取扱方法を誤ると思わぬ事故につながります。次のことに十分注意してください。

- ・ 給油中は、必ずエンジンを切る。
- ・ 油種の確認をしっかりとる。
- ・ 給油前に静電気除去シートにタッチする。
- ・ 注ぎ足し給油をしない。
- ・ 給油口キャップを確実に締める。